



# 谷原小だより 9月号

平成 28 年 9 月 1 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 鈴木 英明

## ★参加することへの意義

校長 鈴木 英明

夏休みが終わり、学校に子供たちが元気に登校してきました。子供たち一人一人の笑顔から夏休みを満喫したことが感じられます。無事に夏休みを終えることができたのも保護者や地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげです。ありがとうございました。今年の夏は、真夏日が続いたかと思えば、台風が上陸する等の不安定な天気が続きました。そのような中でも、夏季水泳指導、夏季学力補充教室、夏季自習教室へ多くの子供たちの参加が見られたことは、嬉しい限りです。夏休みに一生懸命に取り組んだことが自信となり、2学期にどのような力を付けていくのか、楽しみに子供たちと接していきたいと思えます。

さて、この夏休みは、リオデジャネイロオリンピックをテレビ観戦した方も多かったのではないのでしょうか。私も、昔から「体操ニッポン」と呼ばれてきた体操の堂々の団体戦金メダル、女子卓球団体戦の準決勝敗退の瞬間、男子卓球水谷選手や男子テニス錦織選手の熱戦など、それぞれの競技にかける思いやメダル獲得に一喜一憂し、日本選手の活躍に感動をもらいました。そして、改めて、参加することの意義を教えられた気がします。

オリンピックが始まろうとしている7月に朝会で、「オリンピックの競技で大切なことは、他の競技者に勝つことではなく、参加する精神にこそ意義がある」という、クーベルタン氏の言葉を紹介し、学校生活や学習活動に積極的に関わってほしいと伝えました。

この言葉、実は、タルボット大司教の言葉に感銘を受けたクーベルタン氏が引用して晩餐会の席で話したことが、広まったものと言われています。クーベルタン氏は、「参加することに意義がある」という言葉以外にも、その晩餐会で「人生にとって大切なことは成功することではなく、努力すること」、「自己を知る、自己を律する、自己に打ち克つ、これこそがアスリートの義務であり、最も大切なことである」とも語っています。つまり、オリンピックに単に出場すればよい（オリンピック出場には相当の努力が必要ですが・・・）とか、負けてもいいという意味合いではなく、目標に向かって一人一人が努力し、自分の力を最大限に発揮して責任を果たすことが大切だと言っているのです。

そして、次のオリンピックは、東京です。東京都ではオリンピック・パラリンピック教育実施方針をつくり、実施していきます。本校でもこれから本格的に取り組みを進めます。

その実施方針とは、教育活動や教科をオリンピック・パラリンピックに関連付け、4つのテーマ（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）から「学ぶ、観る、支える」ことによって、①ボランティアマインド ②障害者理解 ③スポーツ志向 ④日本人としての自覚と誇り ⑤豊かな国際感覚 を重点的に育成していくというものです。

2学期の授業日数は、80日。秋という活動に最適な季節を迎える中、学習はもちろん、学芸会、学年での移動教室をはじめとした遠足や校外学習、谷原っ子祭り、道徳授業地区公開講座や情報モラル教室といった心を育てる行事もあります。取り組むこと、参加することに意義見いだせるよう目標を明確にして、教職員一同、より充実した教育活動となるよう取り組んでまいります。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

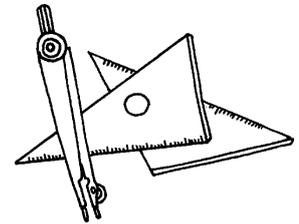
## 少人数指導について

算数少人数担当 野村 夏海

本校の算数の学習では、1年生から少人数指導を行っています。少人数指導を行うことで、個に応じた指導や基礎基本の確実な定着が可能となります。特に、3～6年生は習熟度別にクラスを構成しているため、子供たちの実態に合わせた効果的な学習を展開することができます。

単元ごとに、基本的な内容に加えて発展的な学習も行う「発展コース」、基本的な内容をしっかり学習する「基本コース」、基本的な内容を学習するために基礎を重視する「基礎・補充コース」の3段階にクラス分けをしています。クラス分けの際には、単元に関わる学習の習熟の度合いや子供たちの学習状況を踏まえて編成をしています。学習する単元や内容にもよりますが、どのクラスにおいても、『どうやって問題を解くのか』を考え、図や絵を使うなどしながらノートに分かりやすくまとめるとともに、問題を解いていくという活動を中心に行っています。また、考えを深めるために学び合いの場を作り、自分の意見を伝える、相手の意見を聞くという活動や、学習内容の定着を図るための繰り返し学習を行っています。

今年度は、1～3年生は学級数+1、4～6年生は学級数+2のクラス編成で習熟度別少人数指導を行っています。今後も各学年の担任、少人数担当、学力向上支援講師で連携をとり、子供たちの実態に応じた算数の学習を進めて参ります。



※4月当初空席だった学力向上支援講師に6月より齊藤 妙子先生が着任致しました。

## 特別ではない支援

～それぞれが特別な存在～

特別支援教育コーディネーター 西澤 美花  
田代 順子

特別支援教育は、平成19年4月から学校教育法に位置付けられました。障害のある児童の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する、という視点に立ち、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

そして、今年度までに9年間、特別支援教育を行ってきましたが、そこで語り継がれていることがあります。それは、特別支援教育は、決して特別の児童に対してだけ行う教育ではない、ということです。

例えば、1時間の授業の流れを黒板に書くこと。今やっていることや、次にやることが分かり見通しがもてます。聞いているだけでは理解することがむずかしい児童だけでなく、視覚化されることですべての児童の理解の助けになります。

また、苦手なことがある児童に対し、「がんばれ！」と声をかけがちですが、これを、「誰かの助け（人や物）を借りてもいいんじゃない？」と言ってあげられれば、誰もが楽に感じることでしょう。

平成28年度から3年間かけて、都内全公立小学校に、特別支援教室が設置されます。指導対象児童が、週に数時間、校内に設置された特別支援教室に特別な指導を受けに行きます。これが、特別なことではなく、それぞれの児童に必要な支援を受けられる、と捉えられるように、大人である私たちが認識することが大切です。また、児童一人一人が自信をもって活躍できる場を選んであげることも、大人の役目だと思っています。

## 夏季水泳指導

水泳担当 宮北 陽子

今年の夏はなかなか気温が上がらず、前半の指導日は中止になる日もありました。それでも、晴れた日にはたくさんの子供たちが参加しました。夏休み中の指導は、谷原小の教員と外部指導員の方を含めて行い、安全管理に十分配慮し、また児童の泳力アップを目指しました。

やはり、苦手でも毎日参加することで、低学年児童はだんだんと水に慣れていきます。中学年・高学年の児童も自分の課題、目標に応じて練習に取り組み、上達していきます。頑張った分だけ、努力した分だけ、自分の力となったことと思います。子供たちの成長には本当に驚かされます。

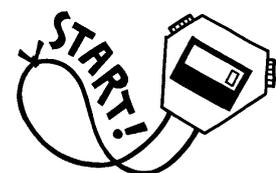


9月に入り、授業の中でどの学年も最後の検定があります。夏休み中に取り組んだ成果を発揮して今年度のまとめとしたいと思います。

## 連合水泳記録会

毎年6年生が参加します。北原小、光和小、谷原小の3校連合で行われ、一人一人が6年間努力した泳力を確認し、充実感を味わうための記録会です。今年は北原小学校のプールで行われます。全員が「自由形」「平泳ぎ」の25m、50m、100mのいずれかの種目に出場し記録をとります。また、50m×4の学校対抗リレーには代表選手が男女2チームずつ出場します。リオオリンピックの選手のように、新記録が出るでしょうか！！

今年は、9月5日（月）に行われ、予備日は6日（火）です。  
低学年の先生方も記録会運営の手伝いに出ますので、時程の変更があります。本日配布の別紙プリントをご確認ください。



# 9月の予定

| 日  | 曜 | 予定                                 |
|----|---|------------------------------------|
| 1  | 木 | 2学期始業式<br>給食始 専科授業始                |
| 2  | 金 | 美化日 委員会⑤ 計測6年くすのき                  |
| 3  | 土 |                                    |
| 4  | 日 |                                    |
| 5  | 月 | 連合水泳記録会6年 計測1年<br>健康の日             |
| 6  | 火 | 水泳記録会予備日 安全指導<br>計測5年              |
| 7  | 水 | 計測2年                               |
| 8  | 木 | 計測3年                               |
| 9  | 金 | 計測4年 移動教室事前検診6年                    |
| 10 | 土 | 学校公開③ 道徳授業地区公開講座<br>区一斉防災訓練 水泳指導終  |
| 11 | 日 |                                    |
| 12 | 月 | 下田移動教室6年<br>移動教室説明会5年<br>情報モラル教室5年 |
| 13 | 火 |                                    |
| 14 | 水 | サミット見学3年                           |
| 15 | 木 |                                    |
| 16 | 金 | 秋の歯科検診246年<br>谷原中部活動体験6年           |
| 17 | 土 |                                    |
| 18 | 日 |                                    |
| 19 | 月 | 敬老の日                               |
| 20 | 火 |                                    |
| 21 | 水 | 秋の歯科検診135年                         |
| 22 | 木 | 秋分の日                               |
| 23 | 金 | 校内研究のため4時間授業<br>研究授業4-1 高見学級       |
| 24 | 土 |                                    |
| 25 | 日 |                                    |
| 26 | 月 | クラブ⑦                               |
| 27 | 火 | 遠足3年                               |
| 28 | 水 | 軽井沢事前検診5年 手話教室4年                   |
| 29 | 木 | 軽井沢移動教室5年 ~1日(土)<br>給食体験会          |
| 30 | 金 | くすのき宿泊説明会                          |

## 大切な「当たり前のこと」 ～歯みがき指導を通して～

養護教諭 押方 富子

「先生、歯が痛い」と口を押さえて保健室に入ってくる1年生。よく見ると健康な乳歯の根が永久歯に吸収されてなくなり、ぐらぐらして今にも抜けそうなのです。乳歯から永久歯の生え替わりは、個人差はありますが、低学年から始まり中学年にピークを迎えます。抜ける前の乳歯の痛みや、でこぼこの歯並びのため歯の磨き方が難しくなり「毎日歯磨きをしているのにむし歯になってしまった。」という声を聞くのもこの時期です。実は、歯を『みがいた』と『みがけた』は違うのです。

そこで、本校では、自分の歯磨きの仕方や癖を知り、正しい歯磨きができるように4年生を対象に、歯垢の染め出し体験を通した歯磨き指導を実施しています。

健康な歯をとくしてむし歯にする『酸』。それをたくさん作るむし歯菌がどのようにして自分たちの口の中に入ったのか。むし歯菌が大好きなのは、甘い食べ物だけでなく、給食の献立の中の熱や力のもとになる食品全部と知って驚きの声を上げます。

「分かった。だから毎日寝る前にはちゃんと丁寧に歯磨きをしなければならないんだ。」  
「もっと早くこのことを知りたかった。」という声が聞かれます。

『早寝・早起き・朝ごはん』という毎日の当たり前のことが健康な体をつくるように、『丁寧な歯磨き』をばかにしないで続けることでしか「健康な歯」を保てないのです。今回の歯磨き指導が、子供たちにとって有意義な体験となり、行動変容に繋がればと願っています。また、歯垢の染め出しは、約半数の児童が、かかりつけの歯科で既に体験していました。歯の健康に対する各ご家庭の意識の高さも改めて実感しました。